

県内大豆ほ場における難防除雑草発生状況

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科

1 部門名

普通畑作物—大豆—雑草防除

2 担当者

安田裕基子・古和田壘

3 要旨

大豆の難防除雑草である帰化アサガオ類、イヌホオズキ類及びアレチウリについて、概ね1ha以上の大豆生産者のほ場における発生状況を明らかにした。

(1) 帰化アサガオ類とイヌホオズキ類は、県内の広い範囲に発生している(図1)。

(2) アレチウリは県北・県中を中心とした中通りでの発生が多く、会津若松市・相馬市・南相馬市でも発生が認められる(図1)。

(3) 帰化アサガオ類及びアレチウリはイヌホオズキ類より発生程度「中」～「甚」のほ場割合が高く、ほ場に侵入した場合まん延しやすい(図2)。

(4) まん延防止のためには、早期発見による侵入初期の抜き取りが特に重要であることから、発生が確認された地域を中心に栽培者への注意喚起に努める。

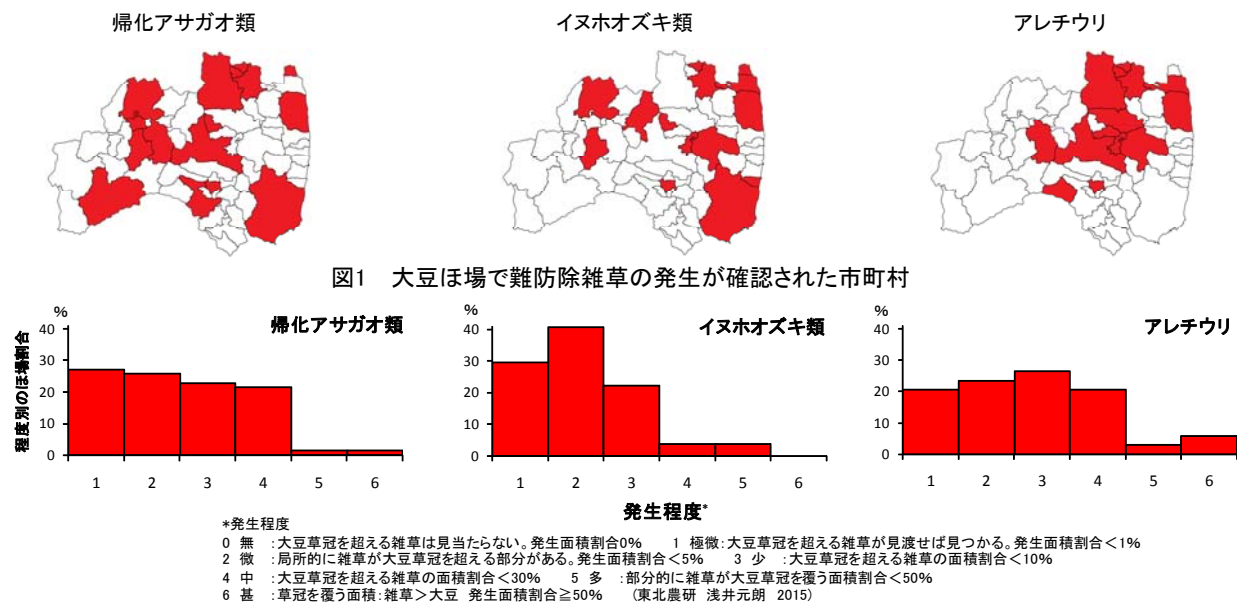


図2 発生程度別のほ場割合

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～28年度
- (2) 研究課題名 難防除雑草の防除法の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 農林水産省委託プロジェクト公募研究課題「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」2015年度